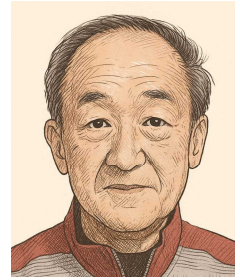


## 『諏訪形誌を歩く一続・諏訪形誌一』発刊に寄せて

諏訪形自治会長 水石 康

令和2（2020）年10月20日に諏訪形誌が刊行されて、早くも5年が経ちました。平成27（2015）年に「諏訪形誌刊行委員会」が立ち上げられ、各分野の専門家や知識人の皆さん、地域の皆さんが各分野に分かれて第1部会から第4部会までの班が形成され、資料収集や編集を行いました。



『諏訪形誌』の調査は地質時代、縄文時代から現代に至る壮大な期間の調査でした。私は第4部会に配属になり、月1回のペースで公民館に集まって、諸先輩のご指導の下、「須川への路線バス」の記事を書かせていただきました。当時を振り返ると、私は最年少で、もともと諏訪形の住民ではなかったこともあって、刊行委員の皆さんによる昔のお話にたいへん興味を持ち、また、おもしろい話を聞かせていただいて心躍る思いでした。また、玉音放送をお聞きになった当時の状況を記憶しておられる大先輩のお話を、何人かが集まって聞かせていただくという貴重な体験もさせていただきました。今思えば、たくさんの思い出が蘇ってきます。当時、いっしょにご苦労された皆さんと思い出話をしてみたいです。

さて、『諏訪形誌』発刊から5年が過ぎた今年、『諏訪形誌を歩く一続・諏訪形誌一』が発刊されます。私自身は今回の編纂にはほとんど参加しておりませんが、時々、自治会の広報誌「諏訪形令和かわら版」には諏訪形誌活用委員会の活動報告が掲載されていました。皆さんも目を通されたことと思います。21回にわたるイベントを開催してくださった諏訪形誌活用委員会の皆様、イベントにご参加いただいた多くの皆さんに感謝申し上げます。